

# 目次

はじめに	
参加型人権教育プログラム集の活用にあたって	1
簡単にできる、アイスブレイク	2
1 人権一般の視点から	
「うれしかったこと」〈人の優しさをみつけよう〉	5
「人権かるたを作つてみよう」〈人の優しさを標語に〉	7
「言い方を変えると」〈よりよい人間関係をつくることのできる言葉とは〉	12
「発想の転換」〈見方を変えると、考え方も変わる〉	16
「ウハウハ」〈少數派であること、多數派であることを体験する〉	20
「電車の中での出来事」〈思いこみで人と接することの危うさ〉	23
「絵本から学ぶ人権教育」〈違いを認め合っていくことの大切さ〉	28
「人権問題の根を見つけ、対策を考えよう」 〈人権問題に共通するものを探る〉	34
2 男女共同参画	
「ちがいのちがい」〈あっていいちがいと、あってはならないちがい〉	37
3 同和問題	
「10年後の同級会」〈中学を卒業して10年後同級会での話〉	40
4 フィールドワーク 長野県の人権ガイド	
「人権ゆかりの人物・史跡・施設を訪ねて」	47
①長野県水平社創立の地と高橋くら子	48
②信州における秩父事件の舞台	49
③御太鼓師 坂内捨五郎	50
④保科百助の記念碑	51
⑤長野朝鮮初中級学校	52
⑥松本少年刑務所（旭町中学校桐分校）	54
⑦飯田線とカネト	55
⑧城前線の桜並木	57
資料 言葉の意味について	58